

凜と立つ

誠心一筋に生き 人の幸せの支えとなれ
多治見西高校附属中学校だより N03
2017/6/26(月) 発行

やり抜く力を育てる授業「探究」

校長 湯原 定雄

先日の2年生の理科探究授業、その最後のまとめで木田優子先生はある生徒に声をかけました。

「〇〇さん、今日の実験の結果はどうでしたか？」

「容器が大きくて、結局沸騰しませんでした。」

「そうですね。でも、それが今日の『成果』ですね。みんなも覚えておいてね。上手くいかなかったことも、『上手くいかなかったという成果』です。それをもとに次にどうするか考えればいいよね。理科探究の真髄をさりげなく伝えるやりとりのように私は感じました。

探究とは、興味・関心から生まれた「なぜだろう?」、「どうしたらいいのか?」を出発点にして、試行錯誤を繰り返しながら自分の答えを見つける過程のことです。つまり、課題発見、思考や推理・検証を経て、発見や創造すること、さらにはそれを表現するというのが探究です。

「理科探究」では、まず自分の取り組むべき課題を決定します。先生方からのさまざまな「つつこみ」をへて、ほんとうに自分で解決したい価値のある「問い」にまで絞り込んでいきます。

そのあと、その問いに答えるべく実験装置や方法を考え、実験を行います。もちろん、簡単にデータは取れません。手作りの風車を扇風機で回している生徒、沸騰した湯のゆげに鏡をあて曇り具合をチェックする生徒、氷と格闘している生徒、アメンボをじっと観察している生徒……。



こうして長い間(1年)をかけて、じっくり一つの「問い」に取り組むのが「探究」です。

『GRIT——やり抜く力』という本が昨年たいへん評判になりました。人生のあらゆる成功のための「究極の能力」は「情熱」と「やり抜く力」だということをさまざまな人の事例をもとに熱く語った本でした。まさに「探究」はそれに重なります。

2年生は今、「探究」はスタートしたばかり。試行錯誤を繰り返しながら、「自分だけの問い」に取り組んでいます。3年生も社会探究に取り組んでいます。高校生になっても「探究」は続きます。「探究」での「やり抜く体験」が、いずれ生徒たちの知的活動の基盤となるに違いないと考えています。

7月の主な予定

- 1日(土)中体連多治見市内大会・4限授業
- 2日(日)中体連多治見市内大会
- 3日(月)振替休日
- 5日(水)塾対象学校説明会
- 8日(土)休業日(第2土曜日)
- 9日(日)英検2次試験
- 12日(水)情報モラル講話
会議のため全校一斉下校(バス16:25)
- 13日(木)~3限授業・保護者懇談会*
- 15日(土)4限授業

- 17日(月)海の日(祝日)
- 18日(火)~3限授業・保護者懇談会
- 21日(金)終業
- 22日(土)休業日(第4土曜日)
- 23日(日)サマートライアル
- 24日(月)~29日(土)特別授業
- 31日(月)振替休日
*保護者懇談会のスケジュールはクラスによって多少違います。ご確認ください。

〈校長のひとこと……〉7月1日(土)2日(日)中体連多治見市内大会

いよいよ中体連多治見市内大会です。試合は相手との戦いでもあるけれど、自分との戦いでもあります。結果にフォーカスせず、自分を信じて、自分の力を十分に発揮することそのことに力を注いでください。この一瞬は、もう二度とやってこない。今に集中して試合に臨んでください。皆心より応援していますよ。